

Social Innovation

F&Pコ・ソーシングサービスをより進化させ
人々の生活を支え、豊かな社会作りに貢献していきたい

&

Fun Innovation

お客様の企業価値を上げるイノベーションこそが楽しい

F&P

フクダ・アンド・パートナーズ

本社

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2 ペンてるビル8F(総合受付)
Tel : 03-5623-5788 Fax : 03-5623-9550

東日本事業部

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー24F
Tel : 022-215-9265(代表) Fax : 022-395-8458 担当：加藤・佐野

仙台長町未来共創センター・オフィス

〒982-0003 宮城県仙台市太白区郡山6-7-21 仙台長町未来共創センター5F
担当：加藤・阿部・佐藤



Sendai Nagamachi 仙台長町
Future Co-Creation Center 未来共創センター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社フクダ・アンド・パートナーズは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



株式会社フクダ・アンド・パートナーズが事業主となり、

仙台市長町副都心に SDGs をテーマにした共創共生のオフィスビルを開発しました。

仙台長町未来共創センターは、いつの時も明かりが灯り続け、

地域と地球を照らし続けるサステナブルな施設です。

平常時と非常時で機能が変わる、リバーシブル・ビルをコンセプトに

平常時「共創」：人を育て、企業間でイノベーションを生み出す施設

非常時「共生」：人を守る地域密着の防災施設

平常時にも非常時にも役に立つ機能を備えた、地域と地球に寄り添う施設です。

そして、テナント入居企業のみならず地域企業も加わった「産・官・学」が

永続的にここで共創すること(新しい価値を創出すること)により、

この施設が「持続可能な社会 (SDGs)」の実現に寄与し続ける存在になることを目指しています。

Sendai Nagamachi Future Co-Creation Center

「仙台長町未来共創センター」

平常時と非常時で機能が変わる共創と共生のリバーシブル・ビル

(株)フクダ・アンド・パートナーズ



「産・官・学」



1. SDGs (「脱炭素社会への貢献」と「防災による住み続けられる街づくり」)に共感し、入居テナントと共に貢献できる企業向けオフィス
2. 高速道路、鉄道、空港などの交通インフラが近い、広域営業拠点としてのオフィス
3. 入居企業同士と共感する「産・官・学」が共創し、価値を生み出すオフィス
4. SDGs 情報発信基地「丸和運輸機関・AZ-COM BCP ギャラリー」(再生可能エネルギーの活用と、災害に強く事業継続に優れたオフィス)
5. 施設の電力をアスエネ(株)のCO2 ゼロの再エネ 100%電力で調達、脱炭素化へ貢献
6. FCV (水素自動車) 及び EV (電気自動車) 対応の V2X システムを導入し、レジリエンスと脱炭素化の両立を実現。ZEV による広域防災連携の宮城県拠点づくりを通して、水素社会への取り組みを進める

1. 再生可能エネルギー活用に(株)エナジアよりアドバイスを受け、非常用発電機に加え、「太陽光発電 + 蓄電池 + EV (電気自動車)」にて電力を 3 次的にバックアップし、非常時でも電気が消えない施設を実現
2. テナント企業のBCPや地域防災(非常時にはF&Pの備蓄食糧を避難者へ無償提供)
3. (株)丸和運輸機関と連携し、非常時の帰宅困難者一時滞在施設としての機能(地域分散避難時代に対応)
4. F&P BCP: 東京首都圏大災害時の経営執行業務機能移転先として仙台を選定
5. 非常時に備え、地域企業との防災連携を目指す

※東北大学災害科学国際研究所 丸谷研究室と企業防災・地域防災・BCP における共同研究を実施

F&P グループのサステナブルな社会に向けた取り組み



仙台長町未来共創センターの運営を通じて、SDGs に貢献します



ソーシャル・イノベーション都市仙台

「ふるさと融資」(仙台市・ふるさと財団)の活用
(地域振興につながる民間事業で新たな雇用が見込まれる事業の民間投資支援)

+

仙台市及び仙台市を代表する企業との共創

+

今後も、国、県、各企業と連携を図りながら共創し続ける

※経済産業省 中小企業庁「はばたく 2021 中小企業 小規模事業者 300 社」に選出

防災環境都市仙台

東日本大震災での教訓を踏まえ、将来の災害や気候変動のリスクなどの脅威に備え、インフラやエネルギー供給の防災性を高める「まちづくり」

+

丸和運輸機関 + AZ-COM ネット支援 1600 社 (企業・行政へのBCP 物流支援の全国ネットワーク)

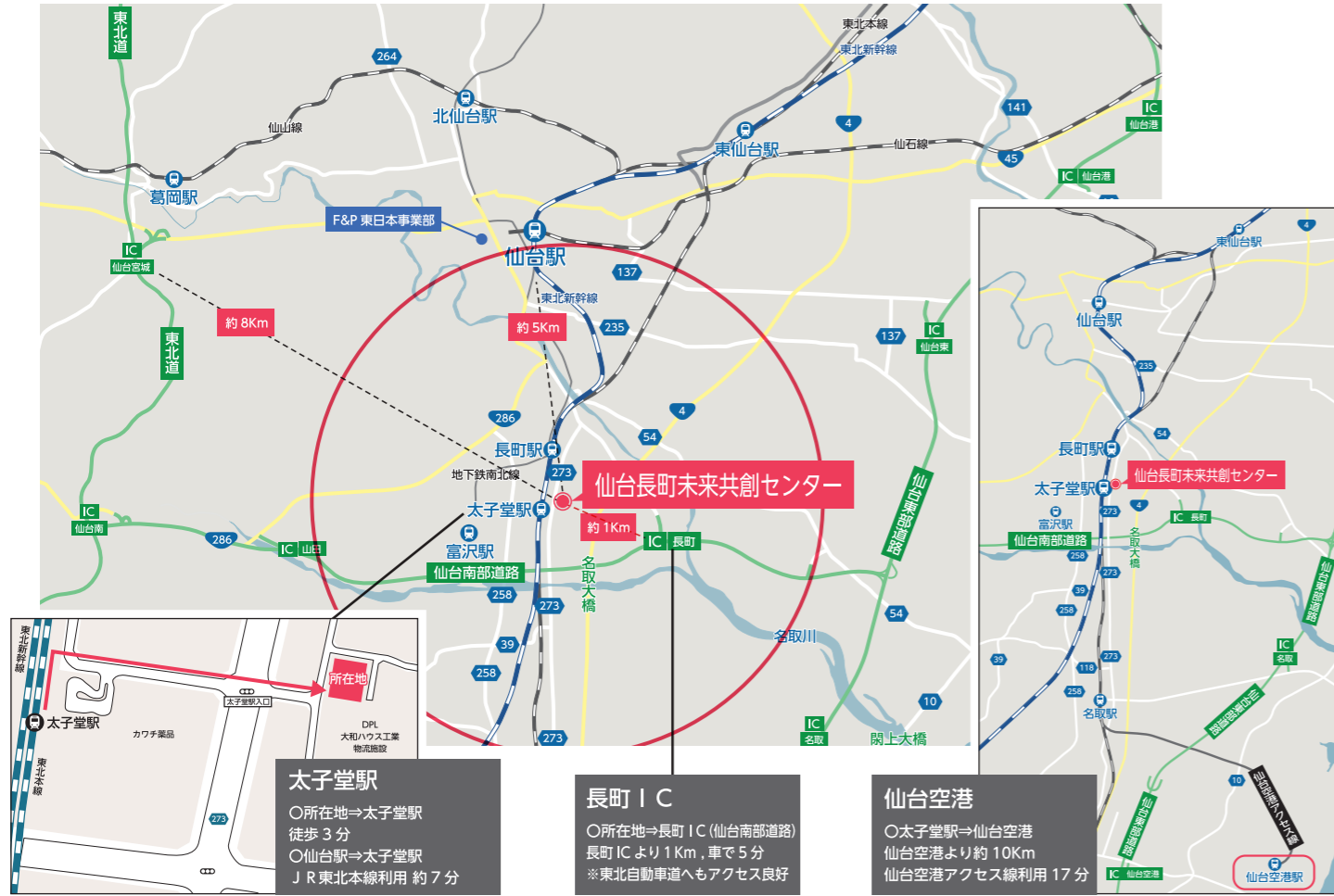
+

「仙台市民民間防災拠点施設再生可能エネルギー等導入補助制度」(仙台市) / 「みやぎ二酸化炭素排出削減支援事業補助金」(宮城県)の活用

※仙台市+東北大学災害科学国際研究所+丸和運輸機関+F&P
「仙台長町FCを活用した企業防災等の推進に関する協定書」を締結
※仙台市 帰宅困難者一時滞り場所として認定

周辺地図とアクセス

仙台駅より約5kmの立地で市内～東北エリアへのアクセス性に富んだ場所に位置します。



周辺主要施設



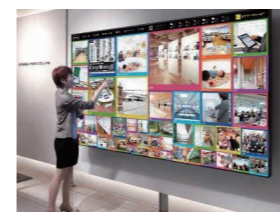
平常時の施設機能 (ソーシャル イノベーション施設)

施設概要

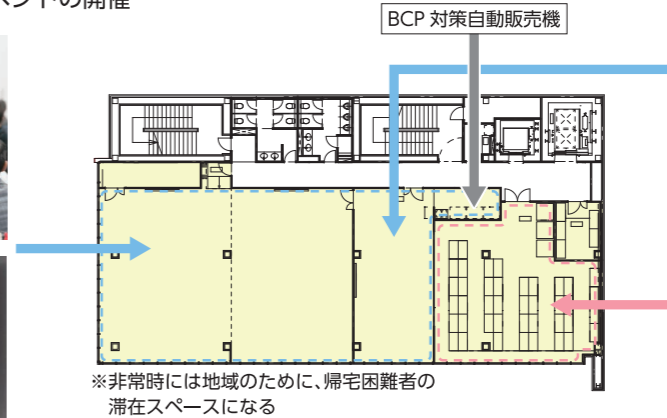
敷地面積 1,426.67 m² (431.57 坪)
延床面積 2,864.73 m² (866.58 坪)
ワンフロア賃貸床面積 約110坪 S造 5階建て
駐車台数 19台 (内EV用2台) バイク駐車場7台 駐輪場12台 (+周辺で駐車場設置)

2階 株式会社丸和運輸機関「AZ-COM BCP ギャラリー」 [BCP 物流 + 備蓄 + コ・クリエーションスペース (貸会議室・セミナースペース)]

- 企業 BCP 物流の発信拠点。防災や企業 BCP のセミナー開催など計画 (想定機能)
- 産官学による防災連携や防災事例の研究など、情報発信の中心拠点として活用
- 地元小中学生向けの防災・BCP 体験セミナーの開催
- 女性起業支援セミナーや地域の貸し会議室としてスペースを提供
- SDGs 関連イベントの開催

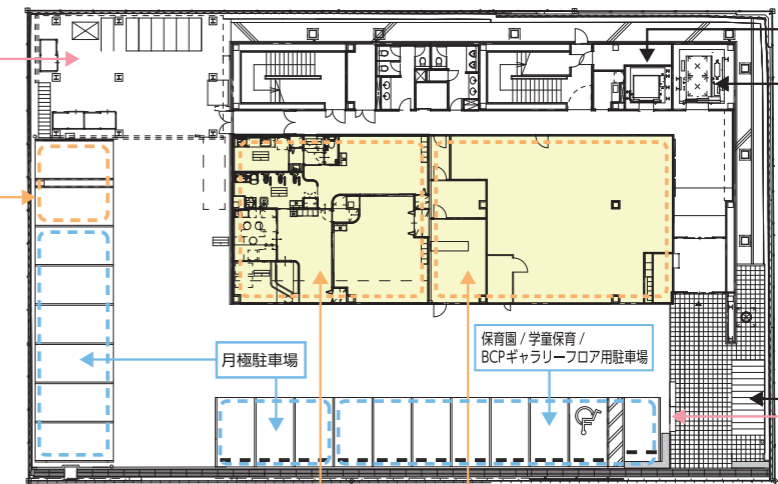
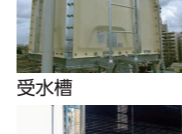


セミナールーム



備蓄物流

1階 小規模保育園 & 学童保育 = 子育て施設



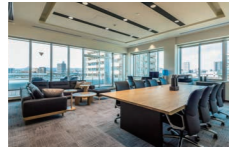
仙台長町未来共創センターのフロア構成

5階

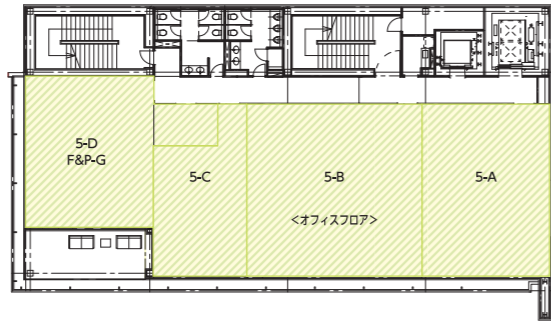
F&P 仙台長町未来共創センター・オフィス

賃貸面積: 331.50㎡ (100.25坪)

- 5-A 83.20㎡ (25.16坪)
- 5-B 113.85㎡ (34.43坪)
- 5-C 51.01㎡ (15.43坪)
- 5-D 83.44㎡ (25.23坪)



F&P 仙台長町未来共創センター・オフィス



非常時

災害対策本部設置
5-D 83.44㎡ (25.23坪)

※東京・首都圏災害時は
F&P 経営代替施設として使用

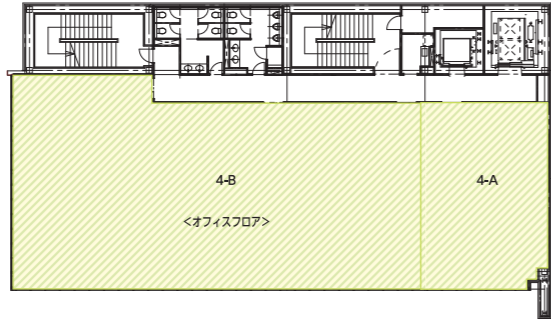
4階

賃貸面積: 390.04 (117.98坪)

- 4-A 88.13㎡ (26.65坪)
- 4-B 301.91㎡ (91.33坪)



オフィスイメージ

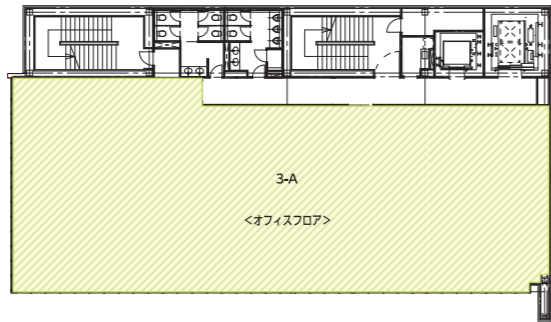


3階

賃貸面積: 395.07㎡ (119.50坪)



オフィスイメージ

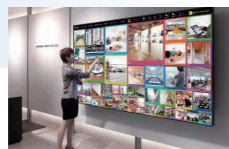


2階

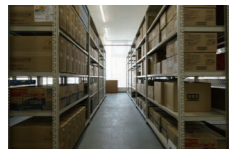
2-A ギャラリー / イベントスペース
2-B BCP ギャラリー / 研修室 / イベントスペース / 貸会議室

備蓄倉庫 (床荷重 1t/㎡)

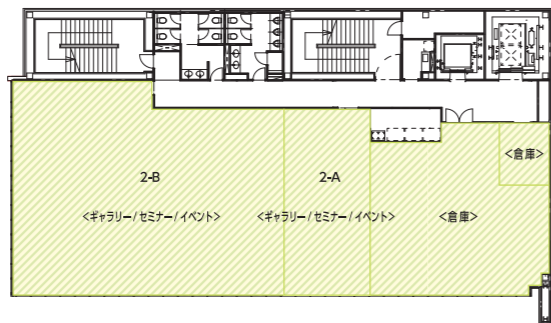
賃貸面積: 374.94 (113.41坪)



ギャラリー イメージ



備蓄倉庫



非常時

帰宅困難者一時滞在 (80人)
備蓄倉庫
(F&P BCP テナント用食糧や
防災備蓄品を避難者へ提供)

1階

小規模保育園
学童保育
EV 専用充電スタンド

賃貸面積: 300.82㎡ (91.00坪)

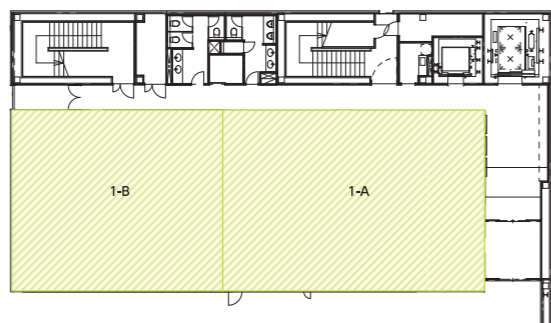
- 1-A 164.96㎡ (49.90坪)
- 1-B 135.86㎡ (41.10坪)



小規模保育園 イメージ



学童保育 イメージ

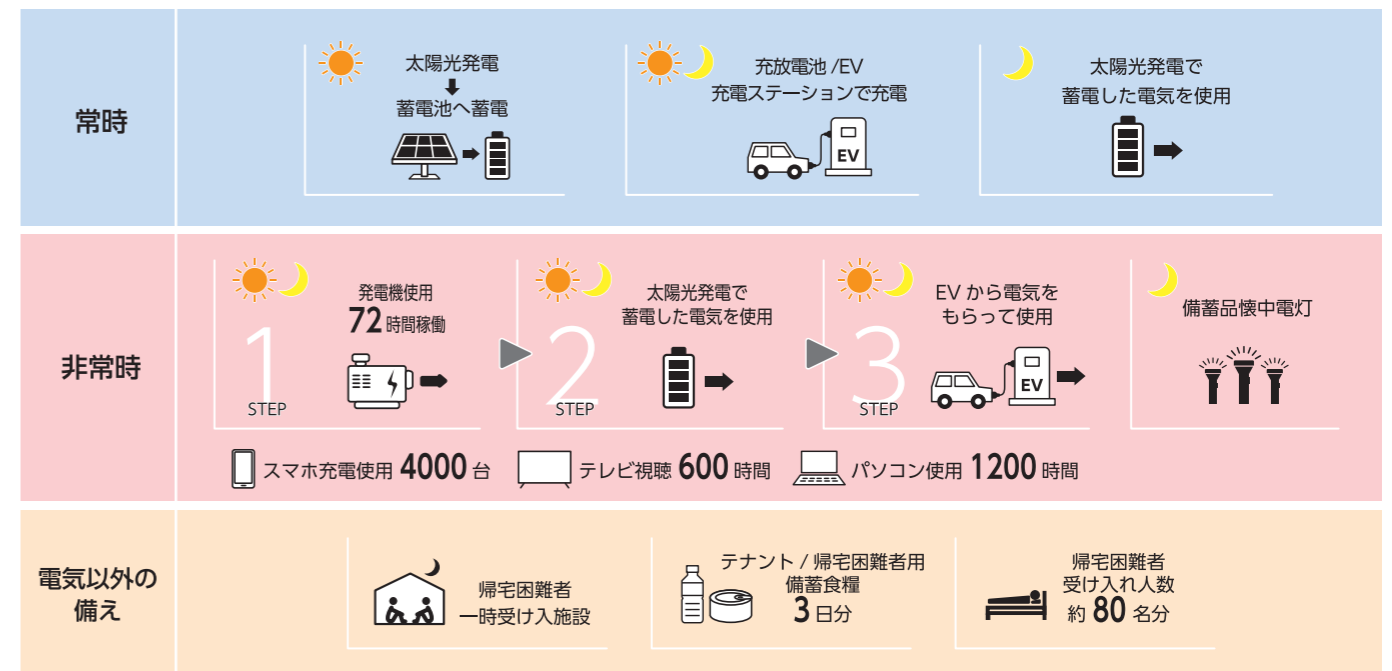


非常時

非常用発電機
電気自動車 (EV)
かまどベンチ
防災マンホール
受水槽

非常時の施設機能

72時間以上電気が消えない施設 電力の3次バックアップシステムにより、災害時に人を守る・明かりが消えない施設を実現



BCP: 太陽光発電機 + 蓄電池 + EV ⇒ RE100 再生エネルギー = SDGs

非常時の1階・2階フロア機能 地域の住民を守るため、非常時には帰宅困難者一時滞在スペース(約80人分)の設備機器や備品を確保 (F&P BCP 食糧備蓄品、80人分の3日間食糧と飲糧を無償提供)

<p>屋上 / 5階 / 4階</p> <ul style="list-style-type: none"> 【屋上】太陽光発電機 30kW 非常用発電機が稼働できない場合にも1F・2Fの照明 / 家電をバックアップ 	<p>[5階] 災害対策本部 災害時は、F&P 仙台長町未来共創センター・オフィスを活用</p> <p>電気が消えない施設</p>
<p>2階</p> <ul style="list-style-type: none"> エアマット 必要に応じて帰宅困難者にエアマット、毛布を支給 自動販売機 災害発生時に自動販売機の飲料を無償提供 	<p>防災備蓄品 & 食糧 組立式簡易トイレ / 簡易シャワー</p> <p>テナント / 帰宅困難者用食糧 + 飲糧 3日分を保管</p>
<p>1階</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池 太陽光で発電した電気を蓄電池を使用 (再生リチウム電池使用) 非常用発電機 (300kVA) 停電時に72時間施設全体へ電気を供給する 電気自動車 (EV) 非常時には動く蓄電池と発電機として活用 (広域災害連携) 	<p>受水槽 非常時の生活用水になる (6,700L)</p> <p>ソーラー街路灯 太陽光エネルギーを変換して点灯 非常時は電源供給し、携帯電話充電 (AC100V) も可能</p> <p>かまどベンチ 非常時にはベンチが「かまど」になり調理を行える</p> <p>防災マンホール 非常時に衛生的なトイレとして簡単に設置</p>